

等差数列 基本 1

No.1

目標時間

5分

学習日 月 日

名前

/

1 次のようにある規則にしたがって数がなっています。

1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, ...

に あてはまる数を書きなさい。

① となりあう 数とは の ちがいがあります。

2番目の数は $1 + \text{$ = 4

3番目の数は $1 + \text{$ × $\text{$ = 7

4番目の数は $1 + \text{$ × $\text{$ = 10

番目の数は $1 + \text{$ × (- 1) となる。

よって 15 番目の数は

$1 + \text{$ × (- 1) =

となる。

② 61 が、何番目の数になるかを考えます。

番目の数になるとすると

$1 + \text{$ × (- 1) =

- 1 = (- 1) ÷

- 1 =

= 番目になる

2 次のようにある規則にしたがって数がなっています。

1, 5, 9, 13, 17, ...

① 12 番目の数は 何になりますか。

② 61 は、何番目の数になりますか。

答え

1

① となりあう 数とは $\boxed{3}$ の ちがいがあります。

2 番目の数は $1 + \boxed{3} = 4$

3 番目の数は $1 + \boxed{3} \times \boxed{2} = 7$

4 番目の数は $1 + \boxed{3} \times \boxed{3} = 10$

\bigcirc 番目の数は $1 + \boxed{3} \times (\bigcirc - 1)$ となる。

よって 15 番目の数は

$1 + \boxed{3} \times (\boxed{15} - 1) = \boxed{43}$
 となる。

② 61 が、何番目の数になるかを考えます。

\bigcirc 番目の数になるとすると

$1 + \boxed{3} \times (\bigcirc - 1) = \boxed{61}$

$\bigcirc - 1 = (\boxed{61} - 1) \div \boxed{3}$

$\bigcirc - 1 = \boxed{20}$

$\bigcirc = \boxed{21}$ 番目になる

2

① $1 + 4 \times (12 - 1) = 45$

② $1 + 4 \times (\bigcirc - 1) = 61$

$\bigcirc - 1 = 60 \div 4$

$\bigcirc - 1 = 15$

$\bigcirc = 16$ 番目